

2025年11月28日

一般社団法人日本能率協会

FOODEX JAPAN、新時代へ

デジタル×グローバル時代に対応した新ロゴを発表

2025年12月2日より順次展開開始

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、**アジア最大級の食品・飲料展示会「FOODEX JAPAN」**のロゴマークを刷新し、2025年12月2日から「FOODEX JAPAN 2026」関連の公式サイト、アプリ、印刷物、会場装飾などで順次新ロゴの運用を開始します。今回の刷新は、1976年以来半世紀にわたり業界の発展を牽引してきた本展示会が、次の50年に向けて進化を遂げる象徴となるものです。

▼旧ロゴマーク



▼新ロゴマーク



The 51st International Food and Beverage Exhibition
FOODEX JAPAN 2026
51. 国際食品・飲料展

■ロゴマーク刷新の背景

「FOODEX JAPAN」は、1976年から毎年開催し、2025年3月で50回の節目を終えました。今回のロゴマーク刷新は、51回目となる2026年から「FOODEX JAPAN」の新たな章が始まる象徴として実施するものです。デジタル時代に即した形で、Webサイト・SNS・動画・スマートフォンアプリなど、多様な媒体での視認性と汎用性を高めることを目的にしています。これにより、出展者・来場者双方に「進化・革新」を印象づけるのが狙いです。

また、海外からの出展・来場比率が年々高まる中、国際展示会としてのプレゼンスをより明確に打ち出します。グローバル市場に通用するデザイン・タイプグラフィ・カラー構成にすることで、海外出展者・来場者への訴求力を高めます。

■新ロゴマークのコンセプト：「円・縁」

キーワードは「円・縁」。本展示会を「縁を結ぶ場」ととらえました。円（縁）が重なる様子を握手、糸（人）の交わり、5本線の水引にちなみ、ポジティブなイメージに図案化しました。日本が開く国際展示会として見えるよう円を外形とし、世界に広がる輪のイメージを持たせています。

■ロゴマーク バリエーション



※デザイン：Kアート株式会社

■次の半世紀に突入する「FOODEX JAPAN」

初開催から半世紀を超え、アジア最大級の食品・飲料総合展示会として進化を続ける「FOODEX JAPAN 2026」は、2026年3月10日（火）～13日（金）の4日間、東京ビッグサイトで開催します。

51回目を迎える本展は、世界80か国以上から出展者が集結。東京ビッグサイト全館を使用し、過去最大の3,000社4,000ブース規模で開催する予定です。グローバルな食トレンドと日本の食文化が交差する場として、国内外のバイヤー・業界関係者の注目を集めます。

食産業の次なる成長領域にフォーカスした新エリアが多数登場します。

「食×AI」「物流」「スタートアップ」「ハラール・ヴィーガン・コーチャ」をテーマに、テクノロジー・多様性・効率化・価値創造をキーワードとした展示・セミナーを展開。

アジア最大級の食品・飲料総合展示会として、食の未来を描く4日間となります。

※来場事前登録は2025年12月2日より公式サイトにて開始予定。

公式サイト：<https://foodex.jma.or.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 産業振興センター 担当：山野辺

TEL：03-3434-3453（土日、祝日を除く9:00～17:00）E-mail：foodex@jma.or.jp

〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22

【報道関係の方のお問い合わせ先】

一般社団法人日本能率協会 経営企画センター 広報室 担当：植草

Email：jmapr@jma.or.jp/TEL：03-3434-8620